

人生いろいろまだ途中

今回は6階の小川チサ子様をご紹介します。



6階に入居しておられる小川チサ子様はちぎり絵を楽しんでおられました。

お部屋にちぎり絵を飾っておられたので伺ってみると、「以前銀行に行った時にちぎり絵が飾ってあったんで、銀行の人に先生を教えてもらって習いに行ったんです。女の先生でした。週に1回3年くらい習っていました。」と言われました。「婦人会の方と一緒に、楽しかったよ。」と笑顔で言われ、飾ってある絵を見ながら「ハサミを使わずに、手でちぎって手本を見ながら作るんよ。つるし柿をちぎり絵にしたこともある。」とのことでした。完成した絵は銀行に飾ってもらい皆さんに見ていただいたそうです。あかり苑のお部屋には2枚のちぎり絵を飾っておられ、どちらを掲載するか、「こっちの方がええじゃろう」と考えておられました。



研修報告

事例検討会

平成28年3月2日

フロア毎に介護に関する様々なテーマで事例研究を行い、苑内発表会を開催しました。

4階「安全ベルトを外していくにはどのようなアプローチをしていけばよいか」

5階「100歳という大きな節目を目前に、豊かで充実した日常を送って頂くために」

6階「レクリエーションを行う事で、日常生活に「幸福感」をもつために」

7階「車椅子ブレーキ忘れ“ゼロ”を目指して～転倒予防の第一歩～」

8階「療養生活から外出へ向けての支援」

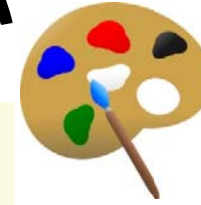
以上が昨年平成27年度の各フロアの事例研究タイトルとなります。

あかり苑では一昨年より事例研究論文に取り組んでおり、今回が2回目となりました。1年目はなかなか慣れない論文に四苦八苦しながらも何とか完成させましたが、2回目となる今回は大変さは変わりませんが皆で協力し、昨年よりもとても良い成果が得られたと思います。

このような研究を通して日々の介護の見直しに繋がり、入居者様により良いケアが提供出来ると思っています。今後もこのような研究を継続し、「有料老人ホームとして」「入居者様へ」「家族様へ」と様々な観点から見直し、成長していきたいと考えています。

ボランティア紹介

4/6 あっくんの絵のパフォーマンス



あっくん（中原晶大様）
平成7年3月9日広島市生まれ。生まれつき沢山の障害を持ち、1歳の頃に患った病気の後遺症で難聴となる。平成25年に県立広島南特別支援学校卒業後は、広島、島根、山口、神戸、大阪で個展開催し、イベントにも多数参加されています。

迫力があって素敵だった

こちらが生きる勇気もらった



4/7 季節の飾り小物作成「鯉のぼり」



講師：小野 節子先生

フラワーデザインスクールスタジオs フローラ代表

カルチャースクール講師やギフト商品制作を通してお花のある暮らしを提案されています。